

図書館だより⑥

2017年10月4日発行
那覇市立鏡原中学校図書館

新刊本

9/30までに登録した本は593冊です。あたらしい本をかりたらちゃんと期限内に返して、次の人にかけてあげてください。お願いします。



読書月間が始まりました。鏡原フェスタ、合唱コンクールなどで忙しくも楽しい時期ですが、その中でも読書ができるよう、習慣づけてください。

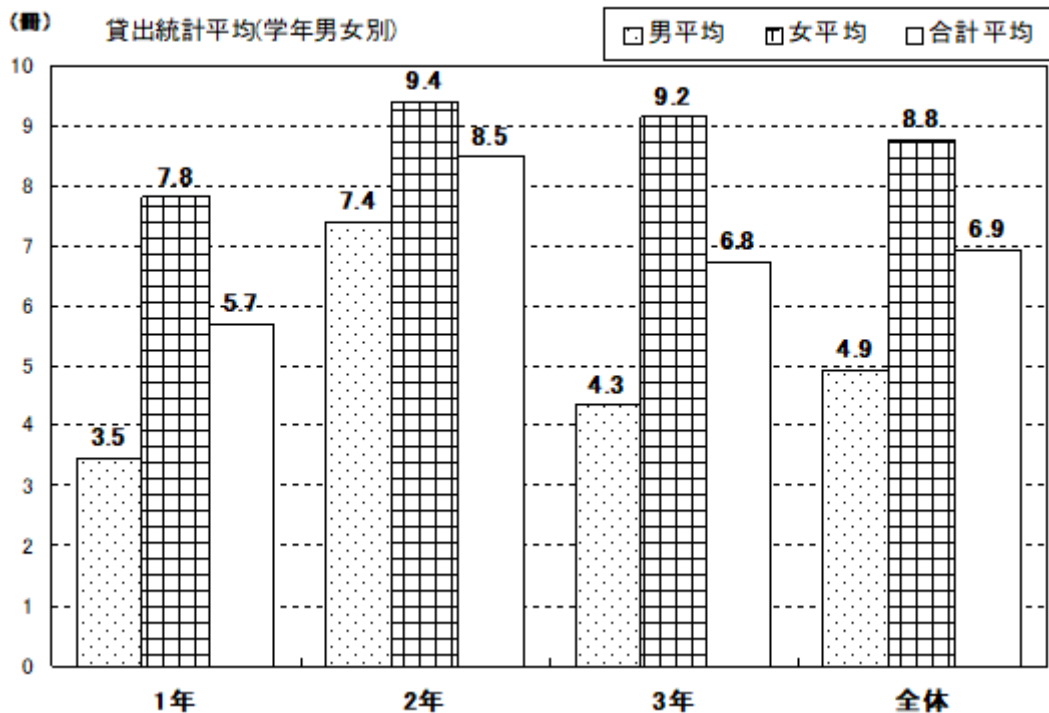
貸出状況 (全学年)

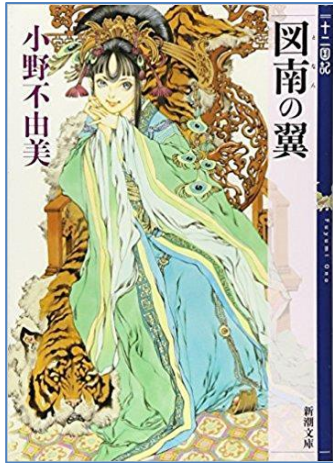
2017年9月1日 ~ 2017年9月30日

1. 学年別・男女別 貸出冊数

学年	1年	2年	3年	合計
男	349	629	430	1,408冊
女	838	941	907	2,686冊
学年合計	1,187	1,570	1,337	4,094冊

2. 学年別・男女別・一人平均 貸出冊数





今月のオススメ本

小野 不由美 作

『と なん 函南の翼』

きりん 麒麟という神獣が王を選ぶ世界で、王が現れないまま27年が経った恭国は荒れ果て、人は魔物に襲われていた。そんな中、「お嬢さま育ち」の12歳の少女が「私が王になる」と旅に出るのだが――。

何か困難なことを目の前にして「これは自分に無理だ」と感じるこあってあると思います。挑戦しないままあきらめてしまったり、「どうぞ無理だよ」と言い訳したり……。そういう時に読んでほしいのが、この本です。『十二国記』というファンタジーシリーズの5作目で、本当は1巻から読んでほしいのですが、この本だけでも十分内容が理解できて、楽しめると思います。

「ファンタジーは現実の鏡だ」と、ファンタジー論の本で書かれていた覚えがあります。現実ではありえないような世界のできごとでも、自分の生活の中で置き換えてみることができ、だからこそ「ファンタジーの世界から励ましや力をもらうことができる」と理解しています。ファンタジージャンルでなくても、名作ならその力は強いと思いますが、ファンタジーは少し離れた場所からなので、逆に心に響きやすい気がします。

このシリーズ、親御さんの方がご存知かもしれません（すぐく流行りましたよね）。実は、三省堂が出版した国語の教科書（※鏡原中では使用していません）の「お薦め本」として掲載されているようです。リアルタイムで「ライトノベル」、「少女小説」として読んでいた本が評価され、読み継がれようとしている…少し不思議な気分で眺めています。

（文責：うえはら）

★ 毎月第3日曜日は「ファミリー読書の日」です。
ご家庭で、親子で、本に親しむ機会を作りましょう。 ★

10月の読書目標

『読書の秋を
楽しもう。』

